

ことばの  
意味を  
学ぼう！

青年訓 ⑧

怒るな責めるな苦しむな  
善きも悪しきもみな鑑

●青年訓  
天恵地恩に感謝を捧げ 報恩奉仕が人の道  
道に遵いざ奮い起て 平和の建設我等の使  
命 逆巻く怒濤猛くとも 天恵は固く揺るぎ  
なし 泰然自若試練に耐えよ 事に臨んで不  
動なれ 真理つかめば心は躍る 大地踏みし  
め天驅努力 徳を積みつつ進めよ和せよ 自  
然の恵は必ず降る 暗い世道に悲観をするな  
明るい朝が待っている 一歩踏み出し大空望  
め 光明希望が展げくる 怒るな責めるな苦  
しむな 善きも悪しきもみな鑑 憂い打ち捨  
ていざ突き進め 信念一つで万事を開く

世の中には色々な考え方を  
持った人々がいます。人や物  
事に接する中で、思うように  
いかないことがあっても、そ  
こには自分を成長させてくれ  
る学びがあります。

※鑑▶手本、模範。



人間には自己中心的な所がありま  
す。例えば、通学電車の本数が増え  
て「通学時間帯の混雑が緩和されて  
助かる」と喜んで、(人身事故で  
遅れたり、止まったりするとイライ  
ラし、「JRは何をやっているんだ」  
と八つ当たりをする。学校での成績  
が思うように伸びず、「教え方が悪  
い」と先生のせいにする。

このように自分の都合や望みに合  
えば喜んで、合わなければ怒る。上  
手くゆかないのは相手のせいだと責  
めたり、どうして上手くゆかないの  
かと、悩んだり苦しんだりします。

「君、世の中には自分の気に入る  
ようなことは少ないし、気に入るよ  
うな人も少ないよ(『恩愛の絆』4  
92頁)」と金剛さまがおっしゃら  
れているように、世の中はすべて自

分の思い通りにはなりません。

そんな状態の時に怒っても責めて  
も苦しんでも改善はしません。上手  
くいかないからこそ、工夫、努力す  
る必要があります。そこに自分の成長も  
あります。この時に大切な姿勢が、  
すべては自分を鍛えてくれる試練で  
あると受け取ることです。

金剛さまは「人間は自分の欠点を  
考えないで、相手ばかりを悪く思う  
が、考え方が違う。良きも悪しきも  
皆鏡であるから、相手を師とすれば  
間違いが無い。(『御遺訓集』121  
頁)」と言われています。

これから先も色々な相手や出来事  
に接してゆくとあります。それらの  
どんなことでも師(手本)として学ば  
うと心がけ、自分をより大きく成長  
させていきましょ。